

本郷産業団地 初の企業立地が決定

県と市が共同で整備する本郷産業団地(本郷町船木)に自動車用ゴム製品等製造大手の西川ゴム工業株式会社が進出することが決まりました。同団地に企業立地が決まったのは初めてです。

先月15日には県庁で天満祥典市長をはじめ、湯崎英彦県知事、福岡美朝市長が出席し、立地協定の調印式が行われました。

同社は1期工事で造成する全ての区画を取得予定。用地面積は約15万3,800㎡。平成33年1月に新工場の建設に着工し、平成34年9月に操業を開始する計画です。将来的には千人規模の雇用を想定しています。

県と市は今後、本郷産業団地の2期工事以降の着工時期を検討します。



▲笑顔で協定書を掲げる天満市長、福岡社長、湯崎知事

☎商工振興課

☎0848・67・6071

6次産業化の推進へ 協議会が発足



▲協議会には地元事業者も参加。6次産業化について話し合いました

市や商工会議所などは先月16日、6次産業化推進協議会を設立し、初会合を開きました。

6次産業化とは、農水産物の生産・加工・流通販売に関わる地元事業者が連携し、地域資源を活用して産物に付加価値を付ける取り組み。事業者の収益向上や農水産業の活性化につながるのが狙いです。

会合では、まずは大和地域で生産が盛んな米粉の6次産業化を進めることを決定。専用品の生産や新商品の開発などを推進し、販路拡大をめざすことなどを確認しました。

協議会は今後、市特産のタコなど、他の品目についても6次産業化を検討します。

☎農林水産課

☎0848・67・6077

市中心部の活性化へクラウドファンディング支援事業を開始

市はクラウドファンディングで資金を集め、市中心部のにぎわいづくりに取り組む個人や団体を支援します。

●支援事業の流れ

市で個人や団体から提出された事業計画を審査し支援対象を決定します。計画をふるさと納税サイトで紹介し、寄付金を募ります。集まった資金を補助金として支援対象に交付します。

支援を受けた個人や団体は支援者へ事業報告し、任意で返礼品を贈るなどします。

にぎわいづくりに取り組む個人や団体を募集

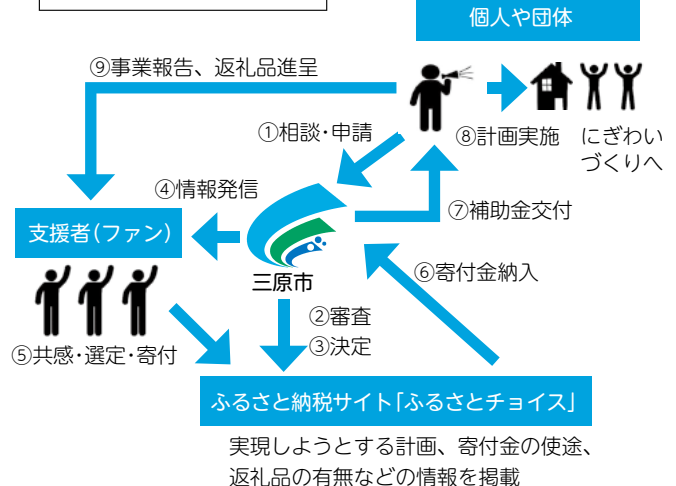
対象 ①②③の条件を満たす個人や団体

- ①市中心部の空き家や空き店舗などを活用し、にぎわいを創出する計画がある
- ②実現に100万円以上の資金を必要としている
- ③集まった資金が目標金額に届かない場合でも計画続行の意思がある

申し込み先 経営企画課

※申し込みには事前の相談が必要です。詳しくは問い合わせてください。

支援事業のイメージ



クラウドファンディングとは

実現しようとする計画をインターネット上に掲載し、その内容に共感した人から寄付金を募る手法です。

☎経営企画課

☎0848・67・6270